



NPO法人道普請人

Communication on Engagement

対象期間：2023年10月～2025年10月

連絡先

NPO法人道普請人 理事 福林良典

E-mail: info@coreroad.org

団体概要

所在地: 京都府京都市下京区東塩小路向畑町20-13 プレザンス京都駅前502号

設立: 2007年12月

理事長: 木村 亮(京都大学アフリカ資料センター 特任教授)

理事数: 11人

職員数: 4人

会員数: 143人, 14団体(2022年度)

事業費(2022年度): 58,000千円

団体設立の背景および目的:

- 多くの開発途上国が農業国でありながら、農村インフラ(農道、ため池など)の整備が進んでいないことが貧困の一因となっている。「簡単な技術で途上国の人々を幸せにする」にはどうすればよいかを出発点に、開発途上国の農民や若者に、地元の資材を活用し、自分たちで道直しができるよう技術移転を行う。具体的な手法として、本団体は日本の伝統技術「土のう」による道路整備手法を開発し、その普及も進めている。
- 「開発途上国の問題は、現地に適したやり方で、そこに住む人々自身で解決していく」ことの実現を目指し、土のうによる道直しなど、現地で入手可能な資材や機材による道路整備の工夫をし、その技術移転や苗木生産による環境問題への取組みを展開する。

理事長による継続支持表明

NPO法人道普請人は、2013年4月23日にグローバル・コンパクトに市民団体として加盟しました。

引き続きグローバル・コンパクト10原則を支持し、自身の団体運営にも活かして参ります。広報活動の一環で、グローバル・コンパクトやその原則について、周知を図ります。

今後もグローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワークに従事します。分科会の講習会などに参加し、企業との情報交換を通して当団体の貢献について考察し、実践して参ります。

企業の環境に関する提携プロジェクトに、具体的活動案の提案をし実行します。



署名

木村 亮 (Makoto Kimura)

理事長 Chairman of Board

2023年10月15日

グローバル・コンパクト10原則

人権 企業は、

原則1: 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、

原則2: 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。

労働基準 企業は、

原則3: 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、

原則4: あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、

原則5: 児童労働の実効的な廃止を支持し、

原則6: 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。

環境 企業は、

原則7: 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、

原則8: 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、

原則9: 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。

腐敗防止 企業は、

原則10: 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

市民団体への推奨活動進捗・成果・計画-1

グローバル・コンパクト・ローカル・ネットワークに従事すること		
進捗	成果	今後の計画
1. ジャパン・ネットワークに参加	1. メーリングリストで提供される情報より、世界的、国内での動向を把握できた。	ジャパン・ネットワークへの参加を継続。

市民団体への推奨活動進捗・成果・計画-2

企業のサステナビリティに関する提携プロジェクトに参加または提案すること		
進捗	成果	今後の計画
<p>以下に示す企業の助成プログラムへ事業提案、助成を得て事業実施。</p> <p>トヨタ環境活動助成プログラム (2020-2021)</p> <p>TOTO水環境基金(2021)</p> <p>経団連自然保護基金(2020-2021)</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 開発途上国の草の根での環境保全に貢献することができた。2. 開発途上国の農村部における水環境整備、安全な水へのアクセス向上に貢献することができた。	<p>企業の環境に関する提携プロジェクトに、引き続き提案、実行する。</p>

2021 年度事業報告

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 道普請人

1. 事業の成果

事業国	事業名	資金源
a) ケニア	1. ケニア国キスム西準郡東キスム地区における診療所の改善による産婦人科サービス向上事業（第 3 年次）*	令和 2 年度 N 連：（公社）日本国際民間協力会（NICCO）との連携事業
	2. ケニアにおける暴力的過激主義、紛争および災害による影響を受けた生活に対する統合的な対応と回復*	国連開発計画（UNDP）（日本政府補正予算事業 2021）
	3. ケリチョー郡 ECDE センターを中心としたコミュニティによる幼児の栄養改善事業（3 年次）*	令和 2 年度 N 連：NPO 法人 HANDs との連携事業
	4. メル郡都市コミュニティにおける生計機会とアクセス向上（4 年事業）*	世銀事業：日本社会開発基金（JSDF）
b) ウガンダ	1. 現地の材料と地元の若者参加型で行う土のう工法を用いたコミュニティ・アクセス道路補修事業（第 3 次）	令和 2 年度 N 連
	2. ブッシ島 4 村での安全な水へのアクセスと環境保全・衛生啓発	TOTO 水環境基金 2020 年度
	3. 脆弱地域の農民、小学生が草の根レベルで実践する土壌保全とレジリエンス強化事業	トヨタ環境活動助成プログラム 2020 年度
	4. 北部ラムウォ県における難民及びホストコミュニティの人道的開発の促進（期間延長）*	国連開発計画（UNDP）（日本政府補正予算事業 2020）
	5. 難民と受入コミュニティの強靱な回復力のための人道支援、開発、平和構築の連携促進*	国連開発計画（UNDP）（日本政府補正予算事業 2021）
c) ブルキナファソ	1. 都市型自治体の女性雇用による労働集約型未舗装道路整備支援と、雇用女性の金融包摂・零細起業による生計安定支援事業（1 年次）	令和元年度 N 連
d) ルワンダ	1. ルワンダ国の農村の貧困削減と自律的な発展に向けた農道整備体制の確立（1・2 年次）	令和 2 年・3 年度 N 連
e) エチオピア	1. 給水施設復旧事業を通じた災害への対応力強化*	国連労働機関（ILO）（日本政府補正予算事業 2021）
f) スーダン	1. ハルツーム州マヨ地区における若者と共に行うコミュニティレジリエンスの構築（道路補修）*	国連労働機関（ILO）（日本政府補正予算事業 2021）
g) ミャンマー	1. マグウェ地域シンバウウェ地区における住民参加での農道整備事業	（公財）日本国際協力財団助成事業
h) 日本	講演、広報活動	団体自己資金

*当事業は、現地事務所での活動（活動計算書には含めず）、N 連：外務省 NGO 連携無償資金協力

1. 事業の実施に関する事項

1. 事業名、2. 事業内容、3.事業実施期間、4.事業実施国・地域、5. 従事者数、6. 裨益者、7. 事業費について下記にまとめる。

a) ケニア

ケニア_1 *ケニア事務所事業

事業名)

ケニア国キスム西準郡東キスム地区における診療所の改善による産婦人科サービス向上事業(第3年次)(外務省 R2 年 N 連 公益社団法人日本国際民間協力会(NICCO)との連携事業)

事業内容)

- a. 保健センター及び地元マーケットへのアクセス道路整備技術支援

事業期間)

2021/7/27~8/20、2021/8/23~9/15

実施国、地域)

ケニア共和国、キスム郡

従事者数)

3 名(木村、福林、岩村)

裨益者)

キスム郡対象コミュニティ 75 名(直接)

事業費)

3,863,288 ケニアシリング (USD 38,000)

ケニア_2 *ケニア事務所事業

ケニアにおける暴力的過激主義、紛争および災害による影響を受けた生活に対する統合的な対応と回復(国連開発計画(UNDP)日本政府補正予算事業 2021)

事業内容)

- a. 若者参加型の支線道路補修
b. 若者グループの雇用創出支援

事業期間)

2021 年 10 月~2022 年 4 月

実施国、地域)

ケニア共和国、エルゲヨ・マラクエット郡/西ポコット郡

従事者数)

3 名(木村、福林、岩村)

裨益者)

対象コミュニティ若者 100 名(直接)

事業費)

24,000,000 ケニアシリング (USD 240,000)

ケニア_3 *ケニア事務所事業

事業名)

ケリチョー郡 ECDE センターを中心としたコミュニティによる幼児の栄養改善事業(3 年次)(外務省 R2 年 NGO 連携無償資金協力(N 連)特定非営利活動法人 HANDs との連携事業)

事業内容)

- a. 小学校への通学路整備

事業期間)

2021/11/22~12/10、2022/1/10~2/4

実施国、地域)

ケニア共和国、ケリチョー郡

従事者数)

3 名(木村、福林、岩村)

裨益者)

ケリチョー郡対象コミュニティメンバー 80 名

事業費)

4,527,835 ケニアシリング (USD 45,000)

ケニア_4 *ケニア事務所事業

事業名)

ケニア・メル郡都市部コミュニティにおける生計機会とアクセス向上(世銀事業:日本社会開発基金(JSDF))

事業内容)

- a. 若者参加型の支線道路補修
b. 若者グループの雇用創出支援

事業期間)

2021 年 6 月~2025 年 6 月(4 年事業)

実施国、地域)

ケニア共和国、メル郡

従事者数)

3 名（木村、福林、岩村）
裨益者）
メル郡対象若者グループ 1250 名（直接）
事業費）
USD 20,000 （合計：USD 2,750,000）

b) ウガンダ

ウガンダ_1

事業名）
現地の材料と地元の若者参加型で行う土のう
工法を用いたコミュニティ・アクセス道路補修
事業（3 年次）（外務省 R2 年度 NGO 連携無償
資金協力事業（N 連））

事業内容）

- a. 住民参加によるコミュニティ・アクセス道
路補修事業
- b. 若者雇用創出に向けた研修

事業期間）

2021 年 2 月～2022 年 1 月

実施国、地域）

ウガンダ共和国、東部 5 県（ナミシンドワ県、
シロンコ県、カリロ県、ジンジャ県、マユゲ県）

従事者数）

4 名（木村、福林、渡辺、岩村）

裨益者）

3000 人（補修した道路を利用する間接裨益者）、
252 人（訓練に参加した直接裨益者）

事業費）

31,448,238 円

ウガンダ_2

事業名）

ブッシ島 4 村での安全な水へのアクセスと環境
保全・衛生啓発（第 16 回 TOTO 水環境基金）

事業内容）

- a. 給水率向上のための雨水集水タンク設置
- b. 島民、小学生との育苗場建設、育苗支援お
よび植林
- c. 小学校における環境・衛生教育

事業期間）

2021 年 4 月から 2022 年 3 月

実施国、地域）

ウガンダ共和国、ブッシ島 4 村

従事者数）

3 名（木村、福林、岩村）

裨益者）

給水タンクを使用する島民 4,676 名

事業費）

3,241,507 円

ウガンダ_3

事業名）

脆弱地域の農民、小学生が草の根レベルで実践
する土壌保全とレジリエンス強化事業（トヨタ
環境 20・21 年度）

事業内容）

- a. 土壌保全手法の技術支援
- b. 農民グループ、小学生との育苗場整備、技
術支援、植林
- c. 育苗用水の確保のための給水タンク設置

事業期間）

2020 年 1 月から 2021 年 12 月

実施国、地域）

ウガンダ共和国、ブドゥダ県ブカラシ地区

従事者数）

3 名（木村、福林、岩村）

裨益者）

ブドゥダ県の 2 農民グループ、2 小学校

事業費）

2,513,447 円

ウガンダ_4 *ウガンダ事務所事業

事業名）

北部ラムウォ県における難民及びホストコミ
ュニティの人的開発の促進（UNDP（日本政府
補正予算事業 2020 年度））（期間延長）

事業内容）

- a. 土のうを用いた道路補修技術支援
- b. 難民居住区内の道路建設技術支援
- c. 簡易かまど作成技術支援

d. 森林回復のための植林技術支援

事業期間)

2020 年 10 月から 2021 年 6 月

実施国、地域)

ウガンダ共和国、ラムウォ県

従事者数)

3 名 (木村、福林、岩村)

裨益者)

ラムウォ県の難民及びホストコミュニティ住民
1490 名 (直接)

事業費)

USD 132,600 (合計 : USD 398,000)

ウガンダ_5 *ウガンダ事務所事業

事業名)

難民と受入コミュニティの強靱な回復力のた
めの人道支援、開発、平和構築の連携促進
(UNDP (日本政府補正予算事業 2021 年度))

事業内容)

- a. 土のうを用いた道路補修技術支援
- b. 難民居住区内の道路建設技術支援
- c. 簡易かまど作成技術支援
- d. 森林回復のための植林技術支援

事業期間)

2021 年 9 月から 2022 年 5 月

実施国、地域)

ウガンダ共和国、アジュマニ県・オボンギ県

従事者数)

3 名 (木村、福林、岩村)

裨益者)

アジュマニ県・オボンギ県の難民及びホストコ
ミュニティ住民 1,320 名

事業費)

USD 339,963 (合計 : USD 437,095)

c) ブルキナファソ

事業名)

都市型自治体の女性雇用による労働集約型未
舗装道路整備支援と、雇用女性の金融包摂・零
細起業による生計安定支援事業(第 1 フェーズ)

(N 連 4 年目)

事業内容)

- a. 全国の都市型自治体道路管理者およびイ
ンフラ省県局長、インフラ省本省公共雇用
プログラム部局に対する土のう工法研修
(研修地バンフォラ市での道路整備含む)
- b. 3 か所の都市型自治体において女性を主に
雇用した道路整備実施と技術移転
- c. 上記プログラムで雇用される女性への生
計安定研修

事業期間)

2020 年 4 月から 2021 年 6 月 (期間延長)

実施国、地域)

ブルキナファソ、都市型自治体 3 都市

従事者数)

4 名 (木村、福林、森重、田川)

裨益者)

道路整備やその研修に参加した、都市型自治体
道路管理関係者およびバンフォラ市他、3 都市
の住民 300 名、道路利用住民約 20,000-40,000 名

事業費)

1,173,020 円

d) ルワンダ

事業名)

ルワンダ国の農村の貧困削減と自律的な発展
に向けた農道整備体制の確立 (1・2 年次) (外
務省 R2・3 年度 N 連))

事業内容)

- a. 労働集約型農道整備事業研修
- b. 高等技術学校教員への技術移転
持続的な労働集約型農道整備体制の枠組
み作り

事業期間)

2021 年 3 月～2022 年 3 月

実施国、地域)

ルワンダ共和国、南部州カモニ郡、フイエ郡、
ニャンザ郡、ギサガラ郡、ムハンガ郡、西部州
カロング郡

従事者数)

4名（木村、福林、渡辺、千葉）
裨益者）
道路沿線住民 12,000 人（道路整備研修に参加した住民 298 人を含む）

事業費）
32,155,645 円（31,768,713+386,932）

e) エチオピア *ケニア事務所事業

事業名）
ソマリ州ジジガ市におけるため池作成（国連労働機関（ILO）（日本政府補正予算事業 2021））

事業内容）
a. 住民参加によるため池作成

事業期間）
2021 年 10 月～2022 年 5 月

実施国、地域）
ソマリ州ジジガ市

従事者数）
4 名（木村、福林、田川、岩村）

裨益者）
事業実施地域の住民約 1,400 人

事業費）
USD 492,839（合計：USD 574,979）

f) スーダン *ウガンダ事務所事業

事業名）
ハルツーム州マヨ地区における若者と共に行うコミュニティレジリエンスの構築（道路補修）（国連労働機関（ILO）（日本政府補正予算事業 2021））

事業内容）
a. 土のうを用いた道路補修技術支援

事業期間）
2021 年 11 月～2022 年 5 月

実施国、地域）
ハルツーム州マヨ地区

従事者数）
3 名（木村、福林、岩村）

裨益者）
事業実施地域の住民約 13,500 人

事業費）
USD 310,831（合計：USD 373,001）

g) ミャンマー

事業名）
マグウェ地域シンバウウェ地区における住民参加での農道整備事業

事業内容）
a. 現地行政と連携した住民参加による農道整備、橋梁建設、CSO 研修
⇒ 政権交代に伴い活動継続が困難となり、活動中止を決定。その処理のため、現地 NGO との連絡調整を実施。

事業期間）
2021 年 4 月～2022 年 3 月

実施国、地域）
ミャンマー連邦共和国マグエ地域

従事者数）
3 名（木村、福林、斎藤）

裨益者）
事業実施地域の住民約 700 人

事業費）
24,330 円

h) 国内

事業名）
国内・講演・広報など共通事業

事業内容）
a. 各地で講演会、広報資料作成、配布

事業期間）
2021 年 4 月～2022 年 3 月

実施国、地域）
日本国内

従事者数）
10 名（木村、岸田、日下部、児島、瀧川、田中、若山、中井、福林、川勝）

裨益者）
国内、不特定多数

事業費）
655,428 円

参考 2021年度 事業報告 事業所別

事業国	No.	事業名	資金源	事業費合計	通貨	21年度事業費	契約事業体
a) ケニア	1	ケニア国キスム西準郡東キスム地区における診療所の改善による産婦人科サービス向上事業（第3年次）*	令和2年度N連：（公社）日本国際民間協力会（NICCO）との連携事業	38,000	USD	38,000	CORE Kenya
	2	ケニアにおける暴力的過激主義、紛争および災害による影響を受けた生活に対する統合的な対応と回復*	国連開発計画（UNDP）（日本政府補正予算事業2021）	240,000	USD	200,000	CORE Kenya
	3	ケリチョー郡ECDEセンターを中心としたコミュニティによる幼児の栄養改善事業（3年次）*	令和2年度N連：NPO法人HANDsとの連携事業	45,000	USD	45,000	CORE Kenya
	4	メル郡都市コミュニティにおける生計機会とアクセス向上（4年事業）*	世銀事業：日本社会開発基金（JSDF）	2,750,000	USD	20,000	CORE Kenya
b) ウガンダ	1	現地の材料と地元の若者参加型で行う土のう工法を用いたコミュニティ・アクセス道路補修事業（第3次）	令和2年度 N連	31,448,238	円	31,448,238	道普請人
	2	ブッシ島4村での安全な水へのアクセスと環境保全・衛生啓発	TOTO水環境基金 2020年度	3,241,507	円	3,241,507	道普請人
	3	脆弱地域の農民、小学生が草の根レベルで実践する土壌保全とレジリエンス強化事業	トヨタ環境活動助成プログラム 2020年度	2,513,447	円	2,513,447	道普請人
	4	北部ラムウオ県における難民及びホストコミュニティの人道的開発の促進（期間延長）*	国連開発計画（UNDP）（日本政府補正予算事業2020）	398,000	USD	132,600	CORE Uganda
	5	難民と受入コミュニティの強靱な回復力のための人道支援、開発、平和構築の連携促進*	国連開発計画（UNDP）（日本政府補正予算事業2021）	437,095	USD	339,963	CORE Uganda
c) ブルキナファソ	1	都市型自治体の女性雇用による労働集約型未舗装道路整備支援と、雇用女性の金融包摂・零細起業による生計安定支援事業（1年次）	令和元年度N連	1,173,020	円	1,173,020	道普請人
d) ルワンダ	1	ルワンダ国の農村の貧困削減と自律的な発展に向けた農道整備体制の確立（1・2年次）	令和2年・3年度N連	32,155,645	円	32,155,645	道普請人
e) エチオピア	1	給水施設復旧事業を通じた災害への対応力強化*	国連労働機関（ILO）（日本政府補正予算事業2021）	574,979	USD	492,839	CORE Kenya
f) スーダン	1	ハルツーム州マヨ地区における若者と共に行うコミュニティレジリエンスの構築（道路補修）*	国連労働機関（ILO）（日本政府補正予算事業2021）	373,001	USD	310,831	CORE Uganda
g) ミャンマー	1	マグウェ地域シンバウウェ地区における住民参加での農道整備事業	（公財）日本国際協力財団助成事業	24,330	円	24,330	道普請人
h) 日本	1	講演、広報活動	団体自己資金	655,428	円	655,428	道普請人

2021年度事業費合計

道普請人	円	71,211,615	
CORE Kenya（ケニア事務所）	USD	795,839	101,071,553
CORE Uganda（ウガンダ事務所）	USD	783,394	99,491,038
合計	円	271,774,206	

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2021 年度上期活動概要



作業前に土のう工法の歌を歌う訓練生 ルワンダ・ニャンザ郡にて

新型コロナウイルスの規制が各国で緩和され(2021 年 9 月末時点)、現場に活気が戻って参りました。新たなスタッフも仲間入りし、それぞれの国で事業が加速しています。オンライン技術指導も実施しており、専門家の意見が現場に正しく反映されるよう、工夫をしながら作業を行っています。

昨年同様、感染予防対策を引き続き実施しつつも、例年に近い規模で事業を進めています。



認定 NPO 法人 **道普請人** みちぶしんびと

2021 年度上半期活動内容

主な活動	2021						
	4	5	6	7	8	9	
ケニア							
公益社団法人日本国際民間協力会 NICCO とのパートナーシップ事業 (木村、福林、岩村)							
UNDP 日本政府補正予算事業 2021 (木村、福林、岩村) *1							
ルワンダ							
外務省令和2年度 NGO 連携無償資金協力事業第2期1年次 (木村、福林、千葉)							
ブルキナファソ							
外務省令和2年度 NGO 連携無償資金協力事業第2期1年次 (木村、森重、田川)							
ウガンダ							
外務省令和2年度 NGO 連携無償資金協力事業 3 年次 (木村、岩村)							
TOYOTA 環境活動助成、環境・森林保全プロジェクト (木村、福林、岩村)							
TOTO 水環境基金、給水・環境保全プロジェクト (木村、福林、岩村)							
UNDP 日本政府補正予算事業 2020 (木村、福林、岩村) *2							
UNDP 日本政府補正予算事業 2021 (木村、福林、岩村) *3							
国内							
広報活動 (木村、岸田、日下部、田中 (稔)、瀧川、児島、若山、中井、福林、須摩谷)							

*1 ケニア事務所契約事業

*2.3 ウガンダ事務所契約事業

主な助成事業等

事業名: ルワンダ国の農村の貧困削減と自律的な発展に向けた農道整備体制の確立(第 1 年次)

資金協力団体: 外務省、令和 2 年度本 NGO 連携無償資金協力
事業期間: 2021 年 3 月～2022 年 3 月 (**ルワンダ**)

事業名: 都市型自治体の女性雇用による労働集約型未舗装道路整備支援と、雇用女性の金融包摂・零細起業による生計安定支援事業(第 1 年次)

資金協力団体: 外務省、令和元年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間: 2019 年 12 月～2021 年 6 月 (**ブルキナファソ**)

事業名: 現地の若者と地元の若者参加型で行う土のう工法を用いたコミュニティ・アクセス道路補修事業(第 3 年次)

資金協力団体: 外務省、令和元年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間: 2021 年 2 月～2022 年 1 月 (**ウガンダ**)

事業名: 脆弱地域の農民、小学生が草の根レベルで実践する土壌保全とレジリエンス強化事業

資金協力団体: 「トヨタ環境活動助成プログラム」2020 年度
事業期間: 2020 年 1 月～2021 年 12 月 (**ウガンダ**)

事業名: ブッシ島 4 村での安全な水へのアクセスと環境保全・衛生啓発

資金協力団体: 第 16 回 TOTO 水環境基金
事業期間: 2021 年 4 月～2022 年 3 月 (**ウガンダ**)

事業名: 難民と受入コミュニティの強靱な回復力のための人道支援、開発、平和構築の連携促進

資金協力団体: UNDP (国連開発計画) 日本政府補正予算事業
事業期間: 2020 年 9 月～2021 年 6 月 (**ウガンダ**)

主な広報活動

月日	内容
4月2日	「国際開発ジャーナル4月号」にて、「NGOとODAの新たな連携へ 草の根無償支援で道路整備は可能か」と題した木村理事長の論考が掲載されました。
4月16日	ウガンダでのN連事業3年目の開始ワークショップの様子が現地メディアで報道されました。
5月21日	ガンビアにて、2018～2019年にILOとの連携で道路補修訓練を実施し、その後訓練生が立ち上げた会社が2度目となる建設工事契約を市議会より受注しました。
9月27日	TOTO水環境基金助成団体の活動ニュースとして、ブッシ島での雨水集水タンク設置が紹介されました。
9月27日	ルワンダでのN連事業における5つ目の対象地カロンギ郡、6つ目のニャンザ郡での道直し訓練が現地ニュースに取り上げられました。N連事業全6郡におけるメディア掲載を達成しました。

活動報告

ルワンダ

- ・6郡にて298人に道直し訓練を実施しました。
- ・ニャンザ郡では、研修生たちが土のう工法の手順を歌詞にした「道直しの歌」をギターに合わせて歌うなど、楽しい訓練になりました。
- ・道直しグループの代表者が集まる訓練では訓練生たちの学ぶ意欲も高く、COREエンジニアたちもたくさんの技術的な質問を受けました。いつでも講義ができるよう、ホワイトボードを毎日現場に持ち込みました。



フイエ郡での道直し訓練の様子

ウガンダ

- ・ウガンダ東部ナミシンドワ県・シロンコ県・カリロ県・ジンジャ県の若者に土のうを用いた道直し訓練を実施し、農村の通行性が格段に向上しました。(N連)。

- ・土砂災害が頻発する東部ブドウダ県にて、アグロフォレストリーや段々畑作成などの技術訓練による土壌保全活動を実施しました(トヨタ環境活動助成)。
- ・ビクトリア湖のブッシ島にて飲用水の雨水集水タンク24基の設置と、3小学校における育苗場の整備・植林等の活動を実施しました(TOTO水環境基金)。
- ・北部アジュマニ県・オボンギ県にて難民・ホストコミュニティの住民計1,320名を対象に、道路補修、かまど作成、植林に関する訓練を開始しました(UNDP 日本政府補正予算事業)。



シロンコ県での道直しの様子



ブッシ島での衛生啓発教室の様子



ケニア

- ・日本のNPO法人NICCOとの連携事業において、計し、75人のコミュニティ習得しました(N連、パー



N連パートナー事業での道直しの様子 キスム郡にて



アジュマニ県での地域活性化活動

563mのアクセス道路を補修メンバーが道直しの技術をトナーシップ事業)。



- ・2地方都市(ウンデ市とボモロ市)で、市内生活道路の土のうによる道路整備研修を行いました。



施工前(ウンデ市)



施工後

施工延長(2021年9月末日現在)

	累計(m)	2021年度 上期 (m)
ケニア	36,763	563
ルワンダ	5,199	1,118
ブルキナファソ	8,639	278
ウガンダ	19,648	2,768
その他25ヶ国	131,277	213
合計	201,526	4,940

インターンの活動

東京大学大学院修士一年の川合裕己と申します。道普請人ウガンダ様にて2021年7月よりインターン活動をさせて頂いています。「自分たちの生活を自分たちで良くするため」のその一歩を如何にしてサポート出来るかを考え続ける毎日です。

ウガンダの大自然と人々の暖かさの中で過ごす日々は、かけがえのない貴重な経験です。道普請人の皆さまに心より感謝申し上げます。



カリロ県での道直し訓練にて

認定NPO法人です!

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。

詳しくは当団体ホームページへ

問合せ先

NPO法人 道普請人
事務局: 福林良典
Tel: 075-343-7244
E-mail: info@coreroad.org
URL: <http://coreroad.org/>

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2021 年度下期活動概要



エチオピア：ソマリ州ジジガ市におけるため池作成の様子

ウガンダでは 3 年間にわたる N 連事業が終了し、首都カンパ
ラにて総括ワークショップが行われました。新型コロナウイルス
の影響も落ち着き、各地事務所・現場ともに活気にあふれていま
す！アフリカ周辺国での単年度事業の受託が増え、ケニア・ルワ
ンダ・ウガンダ事務所スタッフが国境を越えて活躍しています。



認定 NPO 法人

みちぶしんびと
道普請人

2021 年度下半期活動内容

主な活動	2021			2022		
	10	11	12	1	2	3
ケニア						
公益社団法人日本国際民間協力会 NICCOとのパートナーシップ事業(木村、福林、岩村)*1						
UNDP日本政府補正予算事業 2021(木村、福林、岩村)*1						
特定非営利活動法人 HANDSとのパートナーシップ事業(木村、福林、岩村)*1						
世界銀行：日本社会開発基金(JSDF)(木村、福林、岩村)*1						
FUJITA × CORE 連携事業(木村、福林、岩村)*1						
ルワンダ						
外務省令和2年度NGO連携無償資金協力事業第2期1年次(木村、福林、渡辺、千葉)						
ウガンダ						
外務省令和2年度NGO連携無償資金協力事業 3年次(木村、福林、渡辺、岩村)						
TOTO水環境基金、給水・環境保全プロジェクト(木村、福林、岩村)						
TOYOTA環境活動助成、環境・森林保全プロジェクト(木村、福林、岩村)						
UNDP日本政府補正予算事業 2021(木村、福林、岩村)*2						
その他事業国						
エチオピア :ILO日本政府補正予算事業 2021(木村、福林、田川、岩村)*1						
スーダン :ILO日本政府補正予算事業 2021(木村、福林、岩村)*2						
国内						
広報活動(木村、岸田、日下部、田中(稔)、瀧川、児島、若山、中井、福林、川勝)						

*1 ケニア事務所契約事業 *2 ウガンダ事務所契約事業

主な助成事業等

事業名：メル郡都市コミュニティにおける生計機会とアクセス向上

資金協力団体：世界銀行日本社会開発基金(JSDF)

事業期間：2021年6月から2025年6月(4年事業)(**ケニア**)

事業名：ケニアにおける暴力的過激主義、紛争および災害による
影響を受けた生活に対する統合的な対応と回復

資金協力団体：UNDP(国連開発計画) 2021年度日本政府補正予算事業

事業期間：2021年10月から2022年4月(**ケニア**)

事業名：ルワンダ国の農村の貧困削減と自律的な発展に向けた
農道整備体制の確立(第1年次)

資金協力団体：外務省、令和2年度日本NGO連携無償資金協力

事業期間：2021年3月から2022年3月(第1フェーズ)(**ルワンダ**)

事業名：ハルツーム州マヨ地区における若者と共に行うコミュニ
ティレジリエンスの構築(道路補修)

資金協力団体：ILO(国際労働機関) 2021年度日本政府補正予算事業

事業期間：2021年11月から2022年5月(**スーダン**)

事業名：給水施設復旧事業を通じた災害への対応力強化

資金協力団体：ILO(国際労働機関) 2021年度日本政府補正予算事業

事業期間：2021年10月から2022年5月(**エチオピア**)

事業名：現地の材料と地元の若者参加型で行う土のう工法を
用いたコミュニティ・アクセス道路補修事業(第3次)

資金協力団体：外務省、令和2年度日本NGO連携無償資金協力

事業期間：2021年2月から2022年1月(**ウガンダ**)

事業名：ブッシ島4村での安全な水へのアクセスと環境
保全・衛生啓発

資金協力団体：第16回 TOTO 水環境基金

事業期間：2021年4月から2022年3月(**ウガンダ**)

事業名：脆弱地域の農民、小学生が草の根レベルで実践
する土壌保全とレジリエンス強化事業

資金協力団体：「トヨタ環境活動助成プログラム」2021年度

事業期間：2020年1月から2021年12月(**ウガンダ**)

事業名：難民と受入コミュニティの強靱な回復力のための人道支
援、開発、平和構築の連携促進

資金協力団体：UNDP(国連開発計画) 2021年度日本政府補正予算事業

事業期間：2021年9月から2022年5月(**ウガンダ**)

主な広報活動

月日	内容
10月10日	グローバルフェスタ JAPAN2021にて、メインステージイベント：ILO×NGO 道普請人「Jambo!道づくりは仕事づくり」を開催しました。
12月7日	ウガンダでのN連事業総括ワークショップの様子が現地メディアにて報道されました。
1月1日	木村理事長の記事が、国際開発ジャーナル2022年1月号に掲載されました。
1月24日	17～23日にかけて、「鷹の爪団の行け！ODAマン」（外務省 ODA 広報番組）の動画が東京メトロビジョンで放映されました。道普請人の活動が紹介されています。
3月28日	TOTO 水環境基金助成団体の活動ニュースとして、ブッシ島での小学生との育苗の様子が紹介されました。

活動報告

ルワンダ

- ・ 1 年次事業地のフォローアップを実施しました。ニャンザ郡にて撮影を行った「道直しの歌」は CORE Rwanda の YouTube チャンネルにて公開中です。
- ・ N 連事業の一環で行ったウムガンダ(国民奉仕の日)での活動には、老若男女を問わず 100 人程の地域住民が集まり、賑やかな雰囲気の中で「土のう」を用いた道直しを行いました。
- ・ 2 年次の N 連事業に向けた署名式を首都キガリにて行いました。次年度はルワンダ北西部の 5 郡(ルバブ・ニャビフ・ムサンゼ・ブレラ・ギチュンビ)にて道直し事業を実施する予定です。



地域住民が大勢参加したウムガンダ



N 連事業 2 年次: 署名式

ウガンダ

- ・ N 連事業最後の対象地となるマユゲ県での道直し訓練を実施し、東部 5 県における今期の活動が終了しました。12 月に首都カンパラにて、総括ワークショップを実施しました。
- ・ ブドウダ県にて土砂災害低減を目的とした、段々畑の作成や住民自らが育てた苗木の植林等を行いました。(トヨタ環境活動助成)

- ・ 森林の伐採が進むビクトリア湖のブッシ島では、小学生が育てた苗木を地域住民に配布し、3000 本を超える植林を行いました。(TOTO 水環境基金)
- ・ 北部アジュマニ県・オボンギ県では、難民とその受入コミュニティの生活基盤強化を目的とした道路補修、省エネかまど作成、植林を実施しています。(UNDP 日本政府補正予算事業)



首都カンパラで行われた総括ワークショップ



ブドウダ県での小学生たちによる植林活動

ケニア

- ・ グローバルフェスタ(GF) JAPAN2021 のメインステージイベントでは、ナイロビと東京とを繋ぎ、「土のう」による道直しの現場中継を行いました。立ち見が出るほどの大盛況でした！
- ・ 11 月に署名式を行い、4 年間に亘る世界銀行(日本社会開発基金)との大掛かりな事業を、メル郡にて開始しました。
- ・ UNDP 事業では、計 7.7km の道路を整備し、100 人の若者が訓練を経て修了証を受け取りました。



GFJ2021にて現場中継を行う本NPOスタッフ



UNDP事業にて修了証を受け取る訓練生

スーダン

- ・ ハルツーム州マヨ地区の道路補修事業では、300 人の地域住民を対象とした道直し訓練を行っています。「安全」、「ビジネス」に関する座学訓練も同時に実施しています。ウガンダ事務所スタッフが派遣され、活躍しています。



マヨ地区における道直し

エチオピア

- ・ ソマリ州ジジガ市では、土のうを利用したため池作成を行っています。約 6,000m³×7 基の大掛かりな事業を実施しています。専門家による日本からのリモート指導が続けられている他、4 月には専門家の現場派遣が実現する見通しです。



ため池の堤体に用いる土のう

施工延長(2022 年 3 月末日現在)

	累計(m)	2021 年度 下半期(m)
ケニア	45,063	8,300
ルワンダ	5,199	(維持管理活動のみ)0
ウガンダ	31,700	12,052
その他	139,916	0
計	221,878	20,352

インターン活動報告

昨年 7 月よりウガンダ事務所にてインターン活動をさせて頂いています。川合裕己と申します。下半期は、ケニア・ルワンダにおいても事業に関わる機会を頂き、事務所の皆さまを初め沢山の方にお世話になりました。任せて頂ける仕事も次第に増え、上手くいかずに悔しい思いをする時もありますが、全ての貴重な経験が自身の糧となっています。道普請人の皆さま、及び日頃よりご支援頂いている全ての方へ、心から感謝申し上げます。



ケニア・ナイロビにて

認定 NPO 法人です！

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。詳しくは当団体ホームページへ

問合せ先

NPO 法人 道普請人
事務局：福林良典
Tel: 075-343-7244
E-mail: info@coreroad.org
URL: <http://coreroad.org/>

2022 年度事業報告

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 道普請人

1. 事業の成果

事業国	事業名	資金源
a) ケニア	1. メル郡における道路整備部門からの生活向上支援*	世界銀行経由 日本社会開発基金 (JSDF)
	2. ケニアの NDC のための森林・土地再生行動 (FLaRAK) プロジェクト*	国連開発計画 (UNDP) 日本政府補正予算事業 2022
b) ウガンダ	難民と受入コミュニティの強靱な回復力のための人道支援、開発、平和構築の連携促進*	国連開発計画 (UNDP) 日本政府補正予算事業 2021
c) エチオピア	給水施設復旧事業を通じた災害への対応力強化 *一部国内事業 (専門家派遣)	国連労働機関 (ILO) 日本政府補正予算事業 2021
d) スーダン	ハルツーム州マヨ地区における若者と共に行うコミュニティレジリエンスの構築 (道路補修) *	国連労働機関 (ILO) 日本政府補正予算事業 2021
e) マダガスカル	グリーン・ワークでの雇用創出と干ばつ被害からの回復力向上、COVID-19 危機への支援*	国際労働機関 (ILO) 日本政府補正予算事業 2022
	JICA 道路研修 在外補完研修 土のう工法実習	JICA マダガスカル: 公益財団法人北海道国際交流・協力総合センター
f) シエラレオネ	COVID-19 による社会経済的影響からのコミュニティレジリエンスと復旧強化事業*	国際移住機関 (IOM) 国際連合信託基金
g) ルワンダ	「土のう工法」研修の全国展開とルワンダ国の自律的な未舗装道路整備体制の確立に向けた体制づくり	令和 3 年度外務省 N 連
	ギシュワティ-ムクラ森林公園周辺の自然を守る-持続可能な農業の促進を通して	2022 年度公益信託経団連自然保護基金
h) ザンビア	元難民再定住地域内の住人を対象とした道路補修研修*	外務省 N 連: NPO 法人難民を助ける会 (AAR) への協力
i) ブルキナファソ	ブルキナファソ国内ボランティア対象土のう工法研修*	JICA ブルキナファソ
j) 東ティモール	コーヒー生産者組合に加盟するクロロ集落での住民参加による道路整備事業	公益財団法人 日本国際協力財団
k) バングラデシュ	現地 NGO と連携した住民参加による道路整備事業	公益財団法人 日本国際協力財団
l) 日本	15 周年行事、講演、広報活動	団体自己資金

*当事業は、現地事務所での活動 (活動計算書には含めず)、N 連: 外務省 NGO 連携無償資金協力

2022 年度 本部事業収入合計：48,358,320 円

2022 年度 現地事務所事業収入合計：266,087,640 円

1. 事業の実施に関する事項

1. 事業名、2. 事業内容、3.事業実施期間、4.事業実施国・地域、5. 従事者数、6. 裨益者、7. 事業費について下記にまとめる。

a) ケニア

ケニア_1 *ケニア事務所受託事業 事業名)

メル郡における道路整備部門からの生活向上
支援（世銀事業：日本社会開発基金（JSDF））

事業内容)

- a. 若者参加型の支線道路補修
- b. 若者グループの雇用創出支援

事業期間)

2021 年 4 月～2025 年 6 月

実施国、地域)

ケニア共和国、メル郡

従事者数)

3 名（木村、福林、岩村）

裨益者)

メル郡対象若者 50 グループ 合計 1,250 名

事業費)

USD 986,080（合計：USD 2,750,000）

ケニア_2 *ケニア事務所受託事業

事業名)

ケニアの NDC のための森林・土地再生行動
（FLaRAK）プロジェクト（国連開発計画（UNDP）
日本政府補正予算事業 2022））

事業内容)

20 小学校における育苗場の建設と育苗・植林技
術支援

事業期間)

2022 年 10 月～2023 年 3 月

実施国、地域)

ケニア共和国、ナロック郡・ウワシンギシュ郡、
エルゲヨマラクエット郡、カカメガ郡、ビヒガ
郡

従事者数)

3 名（木村、福林、岩村）

裨益者)

5 郡 20 小学校の生徒合計 9,190 名

事業費)

USD 300,000

b) ウガンダ *ウガンダ事務所受託事業

事業名)

難民と受入コミュニティの強靱な回復力のた
めの人道支援、開発、平和構築の連携促進（国連
開発計画（UNDP）（日本政府補正予算事業
2021））

事業内容)

- a. 土のうを用いた道路補修技術支援
- b. 難民居住区内の道路建設技術支援
- c. 省エネ型簡易かまど作成技術支援
- d. 森林回復のための植林技術支援

事業期間)

2021 年 9 月から 2022 年 5 月

実施国、地域)

ウガンダ共和国、アジュマニ県・オボンギ県

従事者数)

3 名（木村、福林、岩村）

裨益者)

アジュマニ県・オボンギ県の難民及びホストコ
ミュニティ住民 1,320 名

事業費)

USD 97,132（合計：USD 437,095）

c) エチオピア *ケニア事務所受託事業

一部国内事業有（専門家派遣）

事業名)

ソマリ州ジジガ市におけるため池作成（国連労

働機関（ILO）（日本政府補正予算事業 2021）

事業内容）

住民参加によるため池作成

事業期間）

2021 年 10 月～2022 年 5 月

実施国、地域）

ソマリ州ジジガ市

従事者数）

4 名（木村、福林、田川、岩村）

裨益者）

事業実施地域の住民約 1,400 人

事業費）

USD 82,140（合計：USD 574,979）

うち国内事業費 450,780 円

d) スーダン *ウガンダ事務所受託事業

事業名）

ハルツーム州マヨ地区における若者と共に行
うコミュニティレジリエンスの構築（道路補修）
（国連労働機関（ILO）（日本政府補正予算事業
2021））

事業内容）

土のうを用いた道路補修技術支援

事業期間）

2021 年 11 月～2022 年 5 月

実施国、地域）

スーダン共和国、ハルツーム州マヨ地区

従事者数）

3 名（木村、福林、岩村）

裨益者）

事業実施地域の住民約 13,500 人

事業費）

USD 62,170（合計：USD 373,001）

e) マダガスカル

マダガスカル_1 *ウガンダ事務所受託事業

事業名）

グリーン・ワークでの雇用創出と干ばつ被害か
らの回復力向上、COVID-19 への支援（国連労
働機関（ILO）（日本政府補正予算事業 2022））

事業内容）

- a. 土のうを用いた道路補修技術支援
- b. 土壌・水源保全手法を用いたモデル・ファ
ームの作成における技術支援
- c. 育苗・植林技術支援

事業期間）

2022 年 9 月～2023 年 3 月

実施国、地域）

マダガスカル共和国、南部アンボアサリ地区・
ベキリー地区

従事者数）

3 名（木村、福林、岩村）

裨益者）

訓練参加者 500 名

事業費）

USD 310,000

マダガスカル_2

事業名）

JICA 道路研修在外補完研修（仏語圏対象）

事業内容）

JICA 道路研修にオンライン参加（本来は、行政
官が日本に来て受ける研修）した仏語圏研修生
からの要請を受けた、現地での土のう工法の研
修（JICA マダガスカル事務所、公益財団法人北海
道国際交流・協力総合センター）

事業期間）

2022 年 6 月

実施国、地域）

マダガスカル アンタナリボ

従事者数）

3 名（木村、福林、千葉）

裨益者） マダガスカル、ベナン、コンゴ、コン
ゴ民、マリの道路関係省職員 13 名

事業費）

1,475,995 円

f) シエラレオネ *ウガンダ事務所受託事業

事業名）

COVID-19 による社会経済的影響からのコミュ

ニティレジリエンスと復旧強化事業（国際移住
機関（IOM）（国際連合信託基金））

事業内容）

若者を対象としたコミュニティアクセス道路
補修技術移転

事業期間）

2022 年 11 月～12 月

実施国、地域）

シエラレオネ共和国、フリータウン市

従事者数）

3 名（木村、福林、岩村）

裨益者）

訓練参加者 30 名

事業費）

USD 57,004

g) ルワンダ

ルワンダ_1

事業名）

「土のう工法」研修の全国展開とルワンダ国の
自律的な未舗装道路整備体制の確立に向けた
体制づくり（2 年次、3 年次）（外務省 R3、R4 年
度 N 連）

事業内容）

農村道路整備組合代表者を対象としたコミュ
ニティアkses道路補修技術移転

事業期間）

（2022 年 3 月～2023 年 3 月）（2023 年 3 月～
2024 年 3 月）

実施国、地域）

ルワンダ共和国、北部州 5 郡

従事者数）

3 名（木村、福林、千葉）

裨益者）

訓練参加者 250 名 道路周辺住人 20000 人

事業費）

37,795,107 円+904,852 円 38,699,959 円

ルワンダ_2

事業名）

ギシュワティ-ムクラ森林公園周辺の自然を守
る-持続可能な農業の促進を通して（2022 年公
益信託経団連自然保護基金）

事業内容）

丘陵地における土壌保全と植林

事業期間）

2022 年 3 月～2023 年 3 月

実施国、地域）

ルワンダ共和国、ンゴロレロ郡

従事者数）

3 名（木村、福林、千葉）

裨益者）500 人

事業費）

1,723,819 円

h) ザンビア *ルワンダ事務所受託事業

事業名）

「メヘバ元難民再定住地における農業を通じた
生計活動支援（第 2 年次）」における、道路補修
への協力（外務省 N 連事業：NPO 法人難民を助
ける会（AAR））

事業内容）元難民の再定住地域内の住人を対象と
した未舗装道路整備研修

事業期間）

2022 年 4 月～5 月

実施国、地域）

ザンビア共和国、メヘバ地区

従事者数）

3 名（木村、福林、千葉）

裨益者）54 人

事業費）

USD 3,300

i) ブルキナファソ *ルワンダ事務所受託事業

事業名）

ブルキナファソ国内ボランティア対象土のう
研修（JICA ブルキナファソ）

事業内容）

ブルキナファソの国内ボランティアを対象と
した短期土のう研修

事業期間)

2022 年 12 月

実施国、地域)

ブルキナファソ ワガドゥグ市

従事者数)

3 名 (木村、福林、千葉)

裨益者)

31 名

事業費)

USD 2,800

j) 東ティモール

事業名)

コーヒー生産者組合に加盟するクロロ集落での住民参加による道路整備事業 (2022 年度国際協力 NPO 助成成長型事業－NPO 法人パルシックとの連携)

事業内容)

土のうを用いた道路補修技術支援

事業期間)

2022 年 4 月～2023 年 3 月

実施国、地域)

東ティモール アイナロ県マウベシ郡

従事者数)

3 名 (木村、福林、田川)

裨益者) 200 人

事業費) 4,169,198 円

k) バングラデシュ

事業名)

現地 NGO と連携した住民参加による道路整備事業 (JICF) (2022 年度国際協力 NPO 助成成長型事業)

事業内容)

土のうを用いた道路補修技術支援

事業期間)

2022 年 4 月から 2023 年 6 月

実施国、地域)

バングラデシュ人民共和国・ロンプール管区・ディナジプール県・パルガオン村

従事者数)

3 名 (木村、福林、川合)

裨益者)

パルガオン村の少数民族 (Santal) 150 名

事業費)

1,971,937 円

l) 日本

事業名)

国内・講演・広報など共通事業

15 周年記念行事

事業内容)

- a. 各地で講演会、広報資料作成、配布
- b. 15 周年記念行事での講演、動画制作、広報資料作成、配布

事業期間)

2022 年 4 月から 2023 年 3 月

実施国、地域)

日本国内

従事者数)

10 名 (木村、岸田、日下部、児島、瀧川、田中、若山、中井、福林、川勝)

裨益者)

国内、不特定多数

事業費)

5,701,789 円

参考 2022年度 事業報告 事業所別

事業国	No.	事業名	資金源	事業費合計	通貨	22年度事業費	契約事業体
a) ケニア	1	1.メル郡における道路整備部門からの生活向上支援（4年事業）*	世銀事業：日本社会開発基金（JSDF）	2,750,000	USD	986,080	CORE Kenya
	2	ケニアのNDCのための森林・土地再生行動（FLaRAK）プロジェクト*	国連開発計画（UNDP）日本政府補正予算事業2022	300,000	USD	300,000	CORE Kenya
b) ウガンダ	1	難民と受入コミュニティの強靱な回復力のための人道支援、開発、平和構築の連携促進*	国連開発計画（UNDP）日本政府補正予算事業2021	437,095	USD	97,132	Core Uganda
c) エチオピア	1	給水施設復旧事業を通じた災害への対応力強化*一部国内事業	国連労働機関（ILO）日本政府補正予算事業2021	574,979	USD	82,140	CORE Kenya
d) スーダン	1	ハルツーム州マヨ地区における若者と共に行うコミュニティレジリエンスの構築（道路補修）*	国連労働機関（ILO）日本政府補正予算事業2021	373,001	USD	62,170	CORE Uganda
e) マダガスカル	1	グリーン・ワークでの雇用創出と干ばつ被害からの回復力向上、COVID-19危機への支援*	国際労働機関（ILO）日本政府補正予算事業2022	310,000	USD	310,000	CORE Uganda
	2	JICA道路研修 在外保管研修 土のう工法実習	JICAマダガスカル：公益財団法人北海道国際交流・協力総合センター経由	1,475,995	円	1,475,995	道普請人
f) シエラレオネ	1	COVID-19による社会経済的影響からのコミュニティレジリエンスと復旧強化事業*	国際移住機関（IOM）国際連合信託基金	57,004	USD	57,004	道普請人
g) ルワンダ	1	「土のう工法」研修の全国展開とルワンダ国の自律的な未舗装道路整備体制の確立に向けた体制づくり	令和3年度外務省N連	-	円	37,795,107	道普請人
	2	ギシュワティ・ムクラ森林公園周辺の自然を守る - 持続可能な農業の促進を通して	2022年度公益信託経団連自然保護基金	1,723,819	円	1,723,819	道普請人
h) ザンビア	1	元難民再定住地域内の住人を対象とした道路補修研修*	外務省N連：NPO法人難民を助ける会（AAR）への協力	3,300	USD	3,300	CORE Rwanda
i) ブルキナファソ	1	ブルキナファソ国内ボランティア対象土のう工法研修*	JICAブルキナファソ	2,800	USD	2,800	CORE Rwanda
j) 東ティモール	1	コーヒー生産者組合に加盟するクロロ集落での住民参加による道路整備事業	公益財団法人 日本国際協力財団	4,169,198	円	4,169,198	道普請人
k) バングラデシュ	1	現地NGOと連携した住民参加による道路整備事業	公益財団法人 日本国際協力財団	1,971,937	円	1,971,937	道普請人
h) 日本	1	15周年行事、講演、広報活動	団体自己資金	5,701,789	円	5,701,789	道普請人

2022年度事業費合計

USD=132

道普請人(本部)	円	52,894,849	
CORE Kenya（ケニア事務所）	USD	1,368,220	180,605,040
CORE Uganda（ウガンダ事務所）	USD	469,302	61,947,864
CORE Rwanda（ルワンダ事務所）	USD	6,100	805,200

合計

円

296,252,953

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2022年度上期活動概要



ケニア：世銀事業開始セレモニーでのトー理事のスピーチ

ケニアでは今後3年間にわたる世銀事業が開始しました。
エチオピアでのため池建設が完了し、スーダンでの土のう
道路維持管理訓練・補修も完了。新型コロナウイルスの影
響も落ち着き、専門家の派遣指導も開始しています。



認定NPO法人 道普請人

2022年度上半期活動内容

主な活動	2022					
	4	5	6	7	8	9
ケニア						
世界銀行：日本社会開発基金（JSDF）（木村、福林、岩村）*1						
UNDP日本政府補正予算事業 2021（木村、福林、岩村）*1						
UNDP日本政府補正予算事業 2022（木村、福林、岩村）*1						
ルワンダ						
外務省令和3年度NGO連携無償資金協力事業第2期2年次（木村、福林、渡辺、千葉）						
公益信託経団連自然保護基金（木村、福林、千葉）						
ウガンダ						
UNDP日本政府補正予算事業 2021（木村、福林、岩村）*2						
その他事業国						
エチオピア：ILO日本政府補正予算事業 2021（木村、福林、田川、岩村）*1						
スーダン：ILO日本政府補正予算事業 2021（木村、福林、岩村）*2						
マダガスカル：ILO日本政府補正予算事業 2022（木村、福林、田川、岩村）*1						
マダガスカル：北海道国際交流・協力総合センター経由JICA道路維持管理(E)コース（木村、福林、千葉）						
東ティモール：（公財）日本国際協力財団 パルシックとの協働（木村、福林、田川）						
バングラディッシュ：（公財）日本国際協力財団 ローカルNGOによる草の根事業支援（木村、福林、川合）						
国内						
広報活動（木村、岸田、日下部、田中（稔）、瀧川、児島、若山、中井、福林、川勝）						

* 1 ケニア事務所契約事業 * 2 ウガンダ事務所契約事業

主な助成事業等

事業名：メル郡における道路整備部門からの生活向上支援

資金協力団体：世界銀行日本社会開発基金（JSDF）

事業期間：2021年11月から2025年6月（**ケニア**）

事業名：ケニアにおける暴力的過激主義、紛争および災害による
影響を受けた生活に対する統合的な対応と回復

資金協力団体：UNDP（国連開発計画） 2021年度日本政府補正予算事業

事業期間：2021年10月から2022年5月（**ケニア**）

事業名：ケニアの国が決定する貢献のための森林、土地の回復
事業（意訳）

タイトル：The Forestry and Land Restoration Action for Kenya's Nationally
Determined Contribution (NDC)(FLaRAK)

資金協力団体：国連開発計画（UNDP）経由 2022年度日本政府補正予算

事業期間：2022年9月から2023年3月（**ケニア**）

事業名：難民と受入コミュニティの強靱な回復力のための人道支援
開発、平和構築の連携促進

資金協力団体：UNDP（国連開発計画） 2021年度日本政府補正予算事業

事業期間：2021年9月から2022年6月（**ウガンダ**）

事業名：ハルツーム州マヨ地区における道路補修

資金協力団体：ILO（国際労働機関） 2021年度日本政府補正予算事業

事業期間：2021年12月から2022年6月（**スーダン**）

事業名：ソマリ州ジジガ市におけるため池作成

資金協力団体：ILO（国際労働機関） 2021年度日本政府補正予算事業

事業期間：2021年10月から2022年6月（**エチオピア**）

事業名：グリーン・ワークでの雇用創出と干ばつ被害からの
回復力向上、COVID-19危機への支援

資金協力団体：国際労働機関（ILO）経由 2022年度日本政府補正予算

事業期間：2022年9月から2023年4月（**マダガスカル**）

事業名：土のうによる道直し研修

資金協力団体：北海道国際交流・協力総合センター（HIECC）経由

2022年JICA道路維持管理(E)コース

事業期間：2022年4月から2022年6月（**マダガスカル**）

事業名：ルワンダ国の農村の貧困削減と自律的な発展に向けた
農道整備体制の確立（第2年次）

資金協力団体：外務省、令和3年度日本NGO連携無償資金協力

事業期間：2022年3月から2023年3月（第2フェーズ）（**ルワンダ**）

事業名：ギシュワティ-ムクラ森林公園周辺の自然を守る-持続可能
な農業の促進を通して

資金協力団体：公益信託経団連自然保護基金

事業期間：2022年4月から2023年3月（**ルワンダ**）

事業名：現地NGOと連携した住民参加による道路整備事業

資金協力団体：日本国際協力財団 ローカルNGOによる草の根事業支援

事業期間：2022年4月から2023年3月（**バングラディッシュ**）

事業名：コーヒー生産者組合に加盟するクロロ集落での住民
参加による道路整備事業

資金協力団体：日本国際協力財団 パルシックとの協働

事業期間：2022年4月から2023年3月（**東ティモール**）

主な広報活動

月日	内容
4月6日	2022年度「京都ヒューマン賞」を受賞しました。
5月25日	「経団連自然保護協議会」だよりに木村理事長の寄稿が掲載されました。
6月8日	第5回JAPANコンストラクション国際賞【特別賞（先駆的事業活動部門）】を受賞しました。
6月18日	2022年第1回通常総会を開催いたしました。
9月26日	積算資料2022年10月号に福林理事、ウガンダ駐在員岩村が寄稿いたしました。

活動報告

ルワンダ

- ・N連2年次の事業地での道直し訓練、渡辺専門家による施工計画指導、事業開始ワークショップを実施しました。
- ・ルワンダ事務所のエンジニアがザンビアにおける難民を助ける会において、難民の再定住地における道直しの指導に派遣されました。
- ・マダガスカルとブルキナファソにエンジニアが派遣され、JICAが企画した研修の道直し指導員を努めました。



渡辺専門家と施工地のモニタリング



ブレラ郡 道直し訓練

ウガンダ

- ・北部アジュマニ県、オボンギ県において、1,320名を対象とした道路補修、かまど作成、育苗・植林トレーニングが完了しました。彼らが活動を続けていけるよう組織化し、ビジネス支援パッケージを供与しました。（UNDP補正予算）



若者グループに対する道直し訓練

ケニア

- ・2022年4月にメル郡にて郡知事に参席の下、事業開始セレモニーを開催しました。今後約3年間で約26kmの支線道路の幹線道路へのアクセスを向上する予定です。（日本社会開発基金）
- ・また、9月に国内5郡20小学校において、育苗場の整備を開始しました。（UNDP補正予算）



事業開始セレモニー後の集合写真



世銀ミッションとの道路箇所視察

エチオピア

- ・ソマリ州ジジガ市において280名の若者を行う計7基のため池建設が完了し、周囲の住民および家畜の水へのアクセスが向上しました。2022年4月には田川専門家現地渡航し、現地の住民に熱血技術指導を行いました。（ILO補正予算）



技術指導を行う田川専門家



ため池の水を汲みに来た子どもたち

スーダン

- ・ハルツーム市における300名の若者を対象とした土のう道路維持管理訓練が完了し、3.25mの市中道路を補修しました。（ILO補正予算）



地域清掃作業▶

マダガスカル

- ・南部アンボアサリ地区、ベキリー地区における事業を開始しました。道路2km補修、2ヘクタールのモデルファームの整備、植林による50ヘクタールの土地の緑化を目指します。（ILO補正予算）



道路整備に積極的に参画する女性たち

東ティモール

- ・特定非営利活動法人パルシックと連携し、コーヒー生産組合に加盟する集落の、市場へのアクセス道路を整備しました。（日本国際協力財団）
- ・2020年3月に現地調査以来、コロナ禍で延期していた道路整備を、ついに実施することができました。



集落の人々と田川専門家



坂部での横断側溝の施工とコンクリート舗装

バングラデシュ

- ・ミャンマーでの事業継続を断念し、バングラディッシュにて、現地NGO、Gram Bikash Kendra (GBK)と連携し、農道整備を行うことになりました。（日本国際協力財団）



バルガオン村の住民との集会



対象道路の調査

施工延長（2022年9月末日現在）

	累計（m）	2022年度 上半期（m）
ケニア	49,958	4,000
ルワンダ	6,138	939
ウガンダ	31,700	0
その他	134,082	3,661
計	231,373	8,600

認定NPO法人です！

問合せ先

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。詳しくは当団体ホームページへ

NPO法人 道普請人

事務局：福林良典

Tel: 075-343-7244

E-mail: info@coreroad.org

URL: <http://coreroad.org/>

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」
という意識を広げたい

2022年度下期活動概要



アフリカ仏語圏諸国のインフラ省職員を対象に土のう工法の研修を実施。
マダガスカルにて行われ、ルワンダ事務所スタッフが現地で講師を担当。

2022年12月3日で、設立15周年を迎えることができました。記念すべき年に、オムロン基金京都ヒューマン賞、第5回Japanコンストラクション国際賞を受賞することができました。次の15年に向けて、初心を忘れずぶれずに活動を続けてまいります。今後も、当団体活動にご期待ください。



みちぶしんびと
認定NPO法人 道普請人

2022年度下半期活動内容

主な活動	2022			2023		
	10	11	12	1	2	3
ケニア						
世界銀行：日本社会開発基金（JSDF）（木村、福林、岩村）*1						
UNDP日本政府補正予算事業 2022（木村、福林、岩村）*1						
ルワンダ						
外務省令和3年度NGO連携無償資金協力事業第2期2年次（木村、福林、渡辺、千葉）						
公益信託経団連自然保護基金（木村、福林、千葉）						
その他事業国						
マダガスカル：ILO日本政府補正予算事業 2022（木村、福林、岩村）*2						
シエラレオネ：IOM国際連合信託基金事業（木村、福林、岩村）*2						
ブルキナファソ：JICA 国内ボランティア研修（木村、福林、千葉）*3						
東ティモール：（公財）日本国際協力財団 パルシックとの協働（木村、福林、田川）						
バングラデシュ：（公財）日本国際協力財団 ローカルNGOによる草の根事業支援（木村、福林、川合）						
国内						
広報活動（木村、岸田、日下部、田中（稔）、瀧川、児島、若山、中井、福林、川勝）						

*1 ケニア事務所契約事業 *2 ウガンダ事務所契約事業 *3 ルワンダ事務所契約事業

主な助成事業等

事業名：メル郡における道路整備部門からの生活向上支援

資金協力団体：世界銀行経由日本社会開発基金（JSDF）

事業期間：2021年4月から2025年6月（4年事業）（ケニア）

事業名：気候の非常事態に対応し、ネットゼロエミッションと気候変動に強い開発を達成するための、国が決定する貢献の活用（ケニアのNDCのための森林・土地再生行動（FLaRAKプロジェクト））

資金協力団体：UNDP（国連開発計画）2022年度日本政府補正予算事業

事業期間：2022年10月から2023年3月（ケニア）

事業名：ルワンダ国の農村の貧困削減と自律的な発展に向けた農道整備体制の確立

資金協力団体：2022年度公益信託経団連自然保護基金

事業期間：2022年3月から2023年3月（ルワンダ）

事業名：ギシュワティ-ムクラ森林公園周辺の自然を守る-持続可能な農業の促進を通して

資金協力団体：外務省日本NGO連携無償資金協力（N連）第2年次

事業期間：2022年4月から2023年3月（ルワンダ）

事業名：グリーン・ワークでの雇用創出と干ばつ被害からの回復力向上、COVID-19危機への支援

資金協力団体：ILO（国際労働機関）2022年度日本政府補正予算事業

事業期間：2022年9月から2023年3月（マダガスカル）

事業名：COVID-19による社会経済的影響からのコミュニティレジリエンスと復旧強化事業

資金協力団体：IOM（国際移住機関）国際連合信託基金

事業期間：2022年11月から2022年12月（シエラレオネ）

事業名：現地NGOと連携した住民参加による道路整備事業

資金協力団体：公益財団法人 日本国際協力財団（JICF）

事業期間：2022年4月から2023年6月（バングラデシュ）

事業名：コーヒー生産者組合に加盟するクロロ集落での住民参加による道路整備事業

資金協力団体：公益財団法人 日本国際協力財団（JICF）

事業期間：2022年4月から2023年3月（東ティモール）

主な広報活動

月日	内容
11月1日	ルワンダ事務所でボランティア活動を行った高校生、宮崎惇仁君の活動が高知新聞で紹介されました。
11月8日	雑誌「建設マネジメント技術」11月号に、第5回Japanコンストラクション国際賞の受賞団体として紹介されました。
11月30日	ルワンダ事務所職員が、マダガスカルで実施されたJICA道路維持管理研修の在外補完研修で、講師を務めました。研修の様子が、北海道国際交流・協力総合センター機関誌で紹介されました。
12月3日	道普請人は、設立15周年を迎えました。
12月17日	道普請人設立15周年祝賀会を、リーガロイヤルホテル京都にて65名の参加を得て行いました。
1月15日	東ティモール・マウベシ郡クロロ集落に至る道路整備事業の様子が、連携するNPO法人パルシックのHPで紹介されました。
2月16日	在ルワンダ日本大使館にて、令和4年度外務省日本NGO連携無償資金協力の在外供与契約の署名式が行われました。署名式の模様が現地メディアに掲載されました。
3月16日	第18回「TOTO水環境基金」の助成団体に決定しました。
3月30日	JICAブルキナファソ事務所の要請で行った、土のう工法の技術移転による道直しの様子が、現地メディアで報道されました。

活動報告

ケニア

・日本社会開発基金（世銀経由）の下、メル郡の若者563名（20グループ）に対し道路維持管理技術訓練を実施し、合計10,830mの都市アクセス道路を補修しました。訓練を修了した20グループの中小企業起業支援を続けています。



土のうの敷設

・日本政府補正予算（UNDP経由）の下、国内5郡の20小学校にて育苗場の建設を行い、小学生と協力し65万株の苗木の生産に成功しました。育苗場は各学校に引渡し、今後地域の緑化のために住民主導の植林が続けられます。



育苗の手順を学ぶ環境クラブ



20の小学校に整備完備した育苗場

マダガスカル

・日本政府補正予算（ILO経由）の下、南部アンボアサリ地区、ベキリー地区において計500名の農民を対象に道路補修、土壌・水源保全手法を用いたモデルファームの作成、育苗・植林トレーニングを実施しました。



アンボアサリ地区での道直し訓練

シエラレオネ

・国際連合信託基金（IOM経由）の下、首都フリータウンにて30名の若者に対する土のう工法技術移転訓練を実施し、300mのコミュニティアクセス道路を補修しました。持久性の高い土のうの道は政府・住民から大変喜ばれました。



訓練を修了した30名の若者

ルワンダ

・N連事業の一環でブレラ郡にて行ったウムガンダ（国民奉仕の日）での道直しには大勢の地域住人に商工業高校の学生100名と近隣駐屯地の軍50名もさんかし、にぎやかに行われました。
・N連事業地の北部5郡にて道路周辺環境整備として、植林を行いました。



ルワンダ事務所スタッフのSifaが、ブルキナファソ



ギチュンビ郡）植林活動に集まった地域住人

ブルキナファソ

・JICAブルキナファソ事務所からの依頼で、ブルキナファソ国内ボランティア16名を対象に土のうによる道直しの研修を行いました。仏語に堪能な、ルワンダ事務所スタッフが講師として派遣されました。

バングラデシュ

・ディナジプール県パルガオン村の住民20人とともに農村道路整備事業を実施しました。パルガオン村ではSantalと呼ばれる少数民族が生活しており、その生活基盤向上に大きく寄与する取り組みとなりました。



開通式、中央は事業を担当したインタールの川合氏



パルガオン村での道路訓練

東ティモール

・NPO法人パルシックと連携し、その事業地であるクロロ集落にて道路整備を行いました。坂部の約200mのコンクリート舗装が完成しました。



郡知事も参加して行われた完工式

施工延長（2022年3月末日現在）

	累計（m）	2022年度 下半期（m）
ケニア	60,788	10,830
バングラデシュ	955	150
マダガスカル	1,250	1,210
その他	181,098	528
計	244,091	12,718

認定NPO法人です！

問合せ先

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。

詳しくは当団体ホームページへ

認定NPO法人 道普請人

事務局：福林良典

Tel: 075-343-7244

E-mail: info@coreroad.org

URL: <http://coreroad.org/>